

授業科目(ナンバリング)	経営学 (AD212)			担当教員	※宮地 晃輔		
展開方法	講義	単位数	2 単位	開講年次・時期	2 年・前期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
我々が社会で生きていく上で、企業との関わりは必須です。企業とは一般的に「ヒト」「モノ」「カネ」「情報」から成り立っており、それらの要素がどのように組合わさって生産活動を営んでいるかを本講義で習得していきます。具体的には、企業が存続していくために必要な事項を理解するとともに、社会で話題になっている経営課題を積極的に講義内で紹介することにより、社会における経済・経営面に関する情報を収集・分析できる能力を養うことを目的としています。そして、最終的には履修者自身が就職した時に、その企業の経営や事業活動に貢献できるような有益な分析視覚を身に付けます。							③⑤ ⑨
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	実社会でビジネスを展開する企業の基本的構造が理解できる。また企業経営に有益な様々な経営理論について説明ができる。				・授業内テスト ・授業態度・授業への参加度	20% 10%	
情報収集、分析力	企業情報を示す客観的データから、その企業の特徴、問題点などを類別できる。またそれによりその企業がとっている戦略や今後とるべき戦略を分析・提言できる。				・定期試験 ・課題レポート	40% 10%	
コミュニケーション力							
協働・課題解決力							
多様性理解力	経済事情等の世間の流れと経営との関連性が理解できる。併せて社会に出て働く上で、必要とされるスキルが理解できる。				・定期試験 ・課題レポート	10% 10%	
出 席					受験要件		
合 計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<p>※具体的には以下の要領で定期試験およびレポートを実施します。</p> <p>(1) 定期試験⇒試験期間中に実施する。最終的評価の 50%を占める。教科書、授業で配布する資料のみ持ち込み可能。</p> <p>(2) 授業態度・授業への参加度⇒最終的評価の 10%を占める。</p> <p>(3) 授業内テスト⇒授業内テストは最終評価の 20%を占める。授業内授業終了前に毎回ポートフォリオを通して理解度を確認する小テストを実施します。</p> <p>(4) 課題レポート⇒最終的評価の 20%を占める。第 12 回目に小レポートをポートフォリオ内で課します。</p> <p>※小テスト・小レポートについては、それらを課した次の時間にフィードバックを実施します。</p>							
授業の概要							
<p>担当教員の作成したパワーポイント資料を用いて毎回の講義の全体像を示しながら、教科書を用いて授業を展開していきます。また、リフレクションカードを毎時間授業前に配布しますが、そちらにコメント欄があります。授業の感想や不明瞭な箇所についてコメントおよび質問を記載して下さい。</p> <p>この授業の標準的な 1 コマあたりの授業外学修時間は、180 分です。</p>							
教科書・参考書							
<p>教科書：「マネジメント検定試験公式テキストⅢ級 経営学の基本」一般社団法人日本経営協会【編】中央経済社</p> <p>参考書：「1からの経営学」吉村典久・加護野忠男著 碩学舎 「演習 経営学」亀川雅人著 新世社</p> <p>指定図書：「1からの経営学」吉村典久・加護野忠男著 碩学舎</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<p>講義に出席することをまず大前提と考えて下さい。その上で配布した資料には授業終了後などに再度目を通し復習して下さい。また日常のニュースや新聞紙面に気を配り、現代社会で起きている経営に関する問題点を大まかでいいので把握するように努めて下さい。また講義の中で、疑問や質問が浮かんだ際は遠慮せずに尋ねて下さい。</p> <p>最後に授業を受講する姿勢についてですが、授業の進行を妨げる行為は厳禁です。また無許可での途中退室は認めません。万が一そのような学生を見かけたら、その学生は当該授業を欠席扱いとします。</p>							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	講義概要解説	半期間の講義の流れや評価などについて説明します。	企業の経営を考えるにあたって、受講者各自が興味のある会社を調べる。講義後、シラバス及び配布資料で示されたポイントを復習する。
2	経営学とは	経営学の出発点として経営学の概念を明らかにします。	経営学から何を学ぶかを理解したうえで、その内容をまとめる。講義後、教科書及び配布資料で示されたポイントを復習する。
3	企業システム（企業と経営・会社の概念と諸形態）	企業の経営に関する経営資源とステークホルダーを説明したうえで、会社の概念と諸形態を明らかにします。これにより株式会社に対する理解を深めます。	教科書を読み、「企業と経営、会社の諸形態」について調べる。講義後、教科書を用いて株式会社の特徴を復習する。
4	企業システム（所有・経営・支配と経営目的、コーポレート・ガバナンス）	株式会社における株主総会、取締役、取締役会、代表取締役、監査役に対して説明したうえで、株式会社の健全な経営の考え方について説明します。	教科書を読み、「株式会社における機関」を調べる。講義後、株式会社の所有と経営の分離を中心に復習する。
5	企業システム（日本型企業システム）	雇用システムとしてのメンバーシップ型とジョブ型の内容を説明したうえで、日本型企業システムを明らかにします。	教科書を読み、「日本型企業システム」について調べる。講義後、教科書及び配布資料で示されたポイントを復習する。
6	経営戦略（経営戦略の体系と理論、全社戦略）	戦略とは何かの定義を理解したうえで、企業経営における経営戦略策定のプロセスを理解します。これによりどうすれば企業は目標を達成できるかを考えます。	教科書を読み、「企業経営と全社戦略」について調べる。講義後、教科書及び配布資料で示されたポイントを復習する。
7	経営戦略（事業戦略、機能別戦略、経営戦略の策定と経営環境）	経営戦略に関するコストリーダーシップ戦略・差別化戦略・集中戦略を説明したうえで、企業の経営環境について説明します。	教科書を読み、「事業ごとの競争戦略」を調べる。講義後、マイケル・ポーターの競争戦略を中心に復習する。
8	経営組織（組織に関する基礎理論、経営組織の基本形態）	組織の階層化と管理業務に関する考え方を説明したうえで、経営者、管理者・現場監督者、従業員のそれぞれの役割について説明します。	教科書を読み、「企業組織の職能分化」を調べる。講義後、教科書及び配布資料で示されたポイントを復習する。
9	経営組織（企業組織の諸形態、組織の制度・管理・文化など）	ライン組織、ライン・アンド・スタッフ組織に関する考え方を説明したうえで、企業における組織形態・管理・文化について説明します。	一般企業における「部署名」について調べる。講義後、教科書及び配布資料で示されたポイントを復習する。
10	経営管理（組織に関する基礎理論、経営機能と管理機能）	職能部門別組織と事業部制組織に関する考え方を説明したうえで、それぞれの組織の経営機能と管理機能を説明します。	「職能部門別組織」と「事業部制組織」について、その意味を調べる。講義後、教科書及び配布資料で示されたポイントを復習する。
11	経営管理（リーダーシップ、マネジメント・プロセス）	企業におけるリーダーシップとは何か、リーダーシップはなぜ必要かを説明したうえで、マネジメント・プロセスについて説明をします。	教科書を読み、「伝統的な管理論」を調べる。講義後、教科書及び配布資料で示されたポイントを復習する。
12	経営管理（経営計画、コントロール）	全社戦略と経営理念の関係性を説明したうえで、SWOT分析やPDCAサイクルの考え方を説明します。また、SWOT分析やPDCAサイクルをテーマとしたレポートを作成します。	レポート準備する。講義後、経営戦略のSWOT分析及び経営管理のPDCAを中心に復習する。
13	経営管理（M&A）	成長戦略の手段としてのM&A（合併・買収）の解説とM&Aにおける最近の動向を説明します。	「M&A」について、その意味を調べる。講義後、教科書及び配布資料で示されたポイントを復習する。
14	経営課題（経営のグローバル化、企業経営と情報化）	人口減少は、資本（経営資金）・人（労働力）・情報の移動が地球規模で行われるグローバル化（グローバル化）の問題を引き起こすことを、具体的な事例を用いて説明をします。	「グローバル化」に力を入れている企業の事例を調べる。講義後、教科書及び配布資料で示されたポイントを復習する。
15	経営課題（企業の社会的責任と企業倫理、環境経営）	SDGsやCSRに関係して、地球温暖化などの地球環境問題に配慮した企業経営の内容について、明らかにします。	「SDGs」や「CSR」に対して、積極的に取り組んでいる企業の事例を調べる。講義後、教科書及び配布資料で示されたポイントを復習する。
16	定期試験	半年間の講義を通して、経営学に関する知識や考え方がどれくらい修得できているかを判断します。	試験準備